

## 投稿のお勧め

「日本ソーシャルデータサイエンス学会論文誌」は、本学会の論文誌として、データサイエンス、ソーシャルデータサイエンスに関する理論やデータサイエンス技術の応用などについての最新の研究、事例などを積極的に発信し、学術発展に寄与することを目的としています。論文の投稿は随時受け付けていますが、発刊に合わせて締め切りを設ける場合があります。

## 「日本ソーシャルデータサイエンス学会論文誌」論文投稿規定

### 1. 本誌の対象となる論文の範囲

「日本ソーシャルデータサイエンス学会論文誌」では、「原著論文」の投稿を募集します。データサイエンス分野に関連した新しい理論や方法、もしくは実際の事例についてその実施にあたっての工夫や新規性・有用性がある内容を想定しています。

### 2. 論文投稿

- (1) 著者のうち少なくとも1名は会員である必要があります。
- (2) 学会事務局に論文をメールに添付して投稿してください。メールのタイトルは「論文投稿」であることを明記してください。  
投稿先：[jsdss@jsdss.org](mailto:jsdss@jsdss.org)
- (3) 使用言語は日本語もしくは英語とします。
- (4) 論文のページ数の上限は設定しませんが、学術論文として必要かつ十分な記述を求めます。
- (5) 投稿論文については著者名が表記されたものと、著者名を消したものの両者を送ってください。
- (6) 投稿論文は受付日よりおおむね2か月以内に査読結果を通知します。
- (7) 査読結果は「無条件採録」、「修正後採録（修正確認は編集委員会に一存）」「修正後再審査」「不採録（返戻）」のいずれかとします。
- (8) (7)のうち修正後採録、修正後再審査の場合の再投稿期間は査読結果通知後原則1か月以内とします。

### 3. 査読規定

投稿された論文は、以下に示す査読基準に照らし合わせ、編集委員会が指名するレフェリーの意見に基づき、編集委員長が採否を決定します。なお、審査過程の問い合わせについては応じられません。

- (1) データサイエンスに関する新しい理論や技術が含まれていること、または既存の理論は技術の応用において工夫をしていること。もしくは、実際の事例について書かれていること。
- (2) データサイエンス手法を適用するにあたっての問題点の分析、考察などが具体的に示さ

れていること。

- (3) 論文の表現が平易で、かつ論理的に書かれていること。
- (4) 内容や記述に誤りがなくあいまいな点がないこと。
- (5) 適用対象や手法の新規性または有用性が示されていること。

#### 4. 著作権

掲載論文の著作権はすべて学会に帰属します。

#### 5. 論文原稿の作成

投稿論文は以下に従って作成してください。

- (1) 論文原稿は電子ファイルとして作成すること。
- (2) 図は原則として著者が用意したものから版下作成をするので、はっきりとしたものを用意すること。
- (3) 日本語で書かれた論文においては、英文のタイトルとアブストラクトを記載すること。
- (4) その他、節項の使い方、参考文献の書き方、文献の参照の方法などは細則をご参照されたい。

#### 6. 規定の改廃

この規定の改廃は編集委員会の議を経て、理事会がおこなう。

附則：本規定は2022年7月15日より効力を有する。

## 投稿論文細則

### 1. 論文の構成

タイトル, アブストラクト, キーワードを書き, 本文を書く. 本文の後に参考文献と必要に応じて付録を付ける. 日本語の論文の場合はページを変えて英文でタイトル, アブストラクト, キーワードを記入する. 著者名と所属も併せて記載するが, 削除した版も作成する必要があるので注意されたい.

### 2. 節項の書き方

節番号は「1.はじめに」「2. 方法」のように通番を付け, 項番号・小項番号はそれぞれ節番号の枝番「1.1」, 「1.2」および項番号の枝番「1.1.1」, 「1.1.2」と付ける.

### 3. 図表について

図表は明瞭なものが求められる. 図については図の下に「図1 タイトル」「図2 タイトル」というように通番とタイトルをつける. 表については表の上に「表1 タイトル」「表2 タイトル」というように通番とタイトルをつける.

### 4. 数式

数式は誤読がないように数式エディタ, TeX などを利用して作成することが望ましい. 文章内の数式や変数についても同様である. 数式番号は数式の右端に「(1)」, 「(2)」というように通番で付け, 本文内での引用は「式(1)」, 「式(2)」と表記する. ただし, TeX で投稿された場合においては公刊時は Word を元にした組版を行うので注意されたい.

### 5. 参考文献

参考文献は本文での参照順に記載する. 「[1]」「[2]」のように通番を付け, 本文中ではこの番号で引用や参照を示す. なお, 種類によって以下のように記述する.

(和文論文)

[1] 第1 著者氏名, 第2 著者氏名, “タイトル,” 掲載誌名, Vol. x, No. y, pp. zzz-www (2022).

(英文論文)

[2] A. Name1, B. Name2 and C. Name3, “Article Title,” *Journal Name*, Vol. x, No. y, pp. zzz-www (2022)

(和書)

[3] 第1 著者氏名, 第2 著者氏名, 「書名」, 出版社名 (2022).

(洋書)

[4] A. Name1, B. Name2 and C. Name3, *Book Name*, Publisher, pp. zzz-www (2022)

(ウェブページ)

[5] 公開者名もしくは著者名, 「タイトル」(短文の場合は“タイトル”) (2022)  
<https://.....html> (2022年4月1日アクセス)

## 6. 細目

- 英数字は半角とする.
- 句読点は「.」「,」を基本とする.

附則：本細則は2022年7月15日より効力を有する.